

Ⅱ. 事業の概要

1. 当該年度の事業の概要

令和5年度に学園創立100周年を迎えた今、建学の精神である「和」とそれに基づく学園の使命を実現するため、そして、次の100周年に向けた盤石な礎を築くために、令和5(2023)年度から令和12(2030)年度までの計画を「睦学園グランドデザイン2030」として、以下のとおり策定しました。

<ビジョン>

和でつながり、個を伸ばす。

<育む人材像>

睦学園は「和の力」を通して「個の力」をもった人材を育成します。

個の成長を最大化させる教育を実践し、共生力を課題解決能力を育みます。

<2030年に達成する姿> (各部門共通の基本骨子)

- I 人間教育 「和」の精神に基づく睦人材の育成
- II 教育研究 教育の充実と総合的「和」の形成
- III 国際交流 世界的視野で行動する人材の育成
- IV 社会連携 地域に開かれ地域と共に成長する
- V 経営基盤 永続的な変革と発展を支える組織づくり

この目標に向け、部門ごとに令和12(2030)年度に目指す姿を定め、中間計画を策定し、この計画の実現に向けて「睦グランドデザイン2030」の初年度である令和5(2023)年度に実施した主な事業について報告します。

○法人の管理運営

1. 昨年度に引き続き、私立学校法等改正に対応した学園の運営体制の点検及び充実を図りました。
2. 第2次「経営改善計画」の計画を着実に進め、財政基盤の安定を図っています。
3. 「学園創立100周年記念事業」を推進しました。また、「睦学園グランドデザイン2030」計画における目指す姿に向けてのアクションプランを着実に実行しています。

○兵庫大学・兵庫大学短期大学部

(1) 人間教育

- ① 3つのポリシーの再点検・見直しを行いました。

(2) 教育研究

- ① 教育の質向上に向けた教育プログラムは、MDASHプログラムについて、リテラシーは大学全学部、応用基礎は現代ビジネス学部が認定されました。
- ② 学生満足度の向上に向けたIR機能の活用を行いました。
- ③ 学生の希望に沿った質の高い出口保証を目指し、各学科とも目標数値の達成に向け取組みを行いました。
- ④ 中途退学率、原級留置生の減少を図るため、入学時調査結果について、各学生個票の作成、入学生に係る基本情報を整理し、学科へ配布、情報提供を行い改善を図っています。
- ⑤ 現代ビジネス研究科の教育研究の充実のため、現代ビジネス学部の学生を対象に、大学院生による授業を実施しました。
- ⑥ 看護学研究科 博士前期課程・博士後期課程の教育研究改革のために第3回日本地域共生ヘルスケア学会学術集会を実施しました。
- ⑦ 中期計画に基づく学部学科改組計画の策定では、保育科第一部の定員減、健康科学部健康システム学科の学科名称変更の機関決定を行いました。
- ⑧ 新設置基準に対応した教員幅制等のあり方の検討では、「大学設置基準の改正に伴う基幹教員制度に関するプロジェクト」を設置し、本学での対応について検討を行いました。
- ⑨ 課外活動の活性化のため、令和6年度から硬式野球部を特別強化指定クラブにすることが決定されました。
- ⑩ 学生の多様化に配慮した支援の強化のため、Qルーム、学習支援コーディネーターの今後の方向性について、関係者会議を実施し、学生の状況及び今後の方向性、課題について情報共有を行いました。
- ⑪ BYOD環境の整備(ソフト面・ハード面)教育・支援体制及び基盤環境の整備のため、学内ネットワーク環境の実施計画の策定を行いました。
- ⑫ 共同研究(国際共同研究を含む)の推進のため、共同研究の推進、教育に結び付く研究支援について、同規模大学、近隣大学の調査を実施し、共同研究推進計画の原案を策定しました。
- ⑬ 受託研究の拡充や寄附、助成等による独自研究財源の確保のため、科研費講演会、科研費申請書レビュー、科研費申請の学科でのアナウンス等を行い、科研費申請件数のアップを図りました。
- ⑭ 研究成果の可視化における、機関リポジトリの構築(学内外手続き等)

について、研究支援課と学修支援センターで協議を行い完成しました。

(3) 国際化推進

- ① グローバル人材育成のため、国際交流を大学の重要な使命のひとつとして位置づけ、海外の大学等と積極的に教育・研究活動を推進するために国際交流方針等を策定しました。
- ② キャンパスグローバル化に関する制度設計を検討しました。
- ③ 留学生拡充戦略を策定し、韓国3大学（金浦大学、ソウル女子大学、仁徳大学）とのMOU調印を行い学生交流、異文化交流の充実を双方で確認しました。また、中国の煙台国際経済技術合作集团有限公司との包括協定の協議を進めています。
- ④ 留学生のニーズを踏まえた科目や学科の設計などの教育機会の拡充のため、大学コンソーシアムひょうご神戸の留学生インターンシップに現代ビジネス学科の学生が参加しサマーキャンプへの学生サポーターとしても参加しました。
- ⑤ 留学生受け入れ環境の整備のため、現代ビジネス学科で、プレイスメントテストを実施し、日本語能力別クラスを開設しました。そして、シェアハウスの生活マナー習得のため、利用手引きの多言語翻訳を行いました。
（英、中、越、韓）
- ⑥ 留学生卒業後進路の開拓のため、学生支援課、留学・国際交流センターの連携を強化しました。

(4) 社会連携

- ① 卒業生とのネットワークの構築及び同窓会との連携強化を図りました。
- ② 地域人材育成プラットフォームの形成と事業創出のため、「兵庫大学プラットフォーム協議会（仮称）」のあり方について検討しました。
また、加古川市・加古川市社会福祉協議会と「災害時における施設使用及びボランティア支援に関する協定」を締結し、教育学部学生と特別支援学校児童生徒との交流活動などを目的に兵庫県立はりま特別支援学校と「特別支援教育の推進に係る連携協定」も締結しました。
- ③ 生涯学習の社会人受講者を述べ5,000人以上目標にエクステンション・カレッジ講座を前期81講座、後期102講座を開催しました。そして、協力団体として後期講座からイトーヨーカ堂別府店が加わりました。
- ④ 新たな教育展開を視野に入れた連携協定先の検討を進めています。

○兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

(1) 人間教育

- ① 創立100周年記念行事としての「感謝の礼拝」-「音楽鑑賞会」を開催を

通じ、一体感の醸成を図りました。

- ② 現強化クラブ（ソフト・バレー・新体）以外の強化クラブとして、剣道部が決定しました。

(2) 教育研究

- ① 令和5年度の大学・短大への進学率や、専門学校も含む進学率も目標を掲げ教育体制を構築しました。
- ② 介護福祉士国家試験合格率は94%でした。
- ③ IR等導入の為、IR推進室を教務部に設置し利活用方法検討及び導入を推進しています。
- ④ 「未来デザイン専攻」の設置により兵庫大学との協同プログラムの構築を図りました。
- ⑤ 英語教育を中心とした教育指導による難関大学の進学率の向上のため志望者対応の英検対策及び受験指導体制を構築しています。

(3) 国際化推進

- ① ハイブリッドな国際交流を展開するために、国際交流の復活、長期国際交流策を検討しております。

(4) 社会連携

- ① 「生活発表とバザー」の卒業生(鷗翠会)との協同による活性化を図りました。
- ② 小・中学校の部活動の地域クラブへの移行に本校の部活動が協力しました。

○神戸国際中学校・高等学校

(1) 人間教育

- ① 中学校の道德教育において学園訓(感謝・寛容・互譲)のこころを育て、感謝・寛容・互譲の心を育む道德教材の整理を進めています。
- ② ボランティア活動を推進し、感謝され、感謝する、助け合うこころを育む活動を展開しています。

(2) 教育研究

- ① 教員の資質能力の向上を図り、授業の工夫・改善・充実による入学後の学力向上を図っています。
- ② 小人数制に更に磨きをかけ、質問対応や個別指導の徹底に努めています。

(3) 国際化推進

- ① 海外語学研修の推進並びに海外協定校の拡大を図り、グローバル人材を育成するために、現在、本校生を受入中のロールストン・カレッジとの協定校覚書締結を予定しています。

(4) 社会連携

- ① 協定校(須磨浦小、バイリンガルスクール、高羽六甲小)や協定教育機関(公文、ECCジュニア)との連携を更に強化し、生徒募集イベントへの参加者数増を目指しました。
- ② 協定校や協定教育機関との入試連携を更に強化し、本校への推薦者数増を図っています。

○兵庫大学附属須磨幼稚園

(1) 人間教育

- ① 保育を通じて建学の精神を理解し、日常生活の中で実践するために、学園訓の中の「互譲」を意識した遊びや活動を取り入れ、SDGsへの取組みから物や資源を大切にす教材を活用しています。

(2) 教育研究

- ① IEPの実践に重要である子ども観察の目と子どもを理解する力を養うため、カンファレンスの強化を図りました。
- ② STEAM教育の展開でエンジョイルームに収穫物を調べる教材の設置を行いました。

(3) 国際化推進

- ① イマ-ジョン教育の推進のため、年少組にデイリープログラムの導入、保護者参加型のイベント、一般公開も開催しました。
- ② 未就園児の英語保育を導入しました。

(4) 社会連携

- ① 地域及び保護者との連携強化のため、老人ホーム等の交流を再開し、園庭開放や夏祭り、盆踊り、ワクワクフェスタを開催しました。

○兵庫大学附属加古川幼稚園

(1) 人間教育

- ① 異年齢の関わりを深める環境を整え、他者を理解し思いやりの心を育てるため、様々な機会に異年齢交流を計画し実施しました。

- ② 建学の精神の共通認識を深め日々の実践につなげるための研修を実施しています。

(2) 教育研究

- ① 子どもの成長過程を保護者と共有し保育計画へと発展させました。
- ② 異年齢集団での保育活動に取り組んでいます。
- ③ 個別の教育計画の取り組みの検証を継続しています。
- ④ 附属園として大学との連携を深める取り組みを推進しています。
- ⑤ 豊かな環境の中で「好き」な遊びや行事を通して健康な心身を育む取り組みを行いました。
- ⑥ 運動あそび等による体力づくりは継続しています。

(3) 国際化推進

- ① 海外からの一時帰国者の受入れを継続しています。
- ② 外国の文化や言葉に関する興味や関心を持たせる取り組みとして、園児の発達段階に即して外国語に触れる場面を設定し、外部委託したスタッフが、月1回英語遊びを保育時間内に実施しています。

(4) 社会連携

- ① 園児と地域の人との関わりを実施するためのスペースを設置しました。
- ② 時代に即した保護者会運営方法について検討し、意見聴取する機会を設定しました。